

施設規模

処理能力：150t/日

建設場所

山形市大字漆山地内
(立谷川清掃工場のとなり)

事業実施について

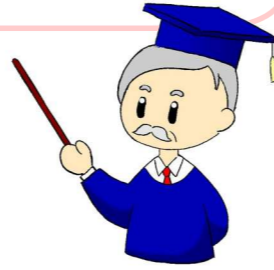
立谷川清掃工場



エネルギー回収施設 (立谷川)



工事車両や収集車両が
建設地の周辺道路へ与え
る影響を少なくします。

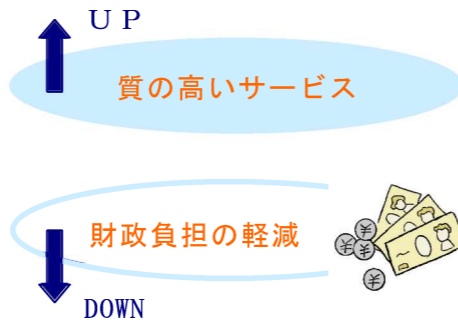
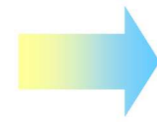
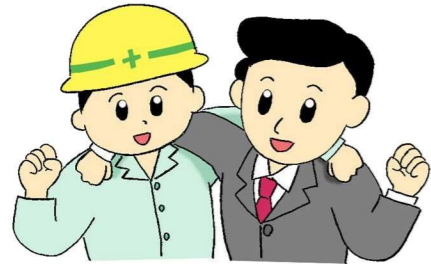


民間事業者を活用します

施設建設から維持管理・運営までを一体的に民間事業者に任せることで、民間事業者のノウハウを活かした質の高い建設・運営サービスが期待できます。また、事業費が圧縮でき、組合の財政負担額が減り、住民の皆さんの負担が軽減されます。

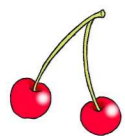
なお、新施設には組合職員を配置し、民間事業者が適正かつ確実に公共サービスを実施するように監視を行います。

民間事業者と組合が協力します



建設地周辺の住民の皆さんを対象にした説明会や本組合圏域の住民の皆さん全員を対象にした広報の発行などを実施し、新施設の建設について皆さんに十分ご理解頂いた上で、計画を進めていきたいと考えています。

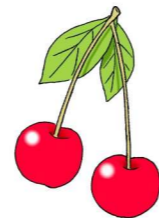
また、建設前だけでなく、建設中や建設後においても継続的に説明会や事業報告等を行い、住民の皆さんにとって開かれた工事・施設を目指します。



お問い合わせ先

山形広域環境事務組合 管理課

〒990-8540 山形県山形市旅籠町二丁目 3 番 25 号
TEL : 023-641-1844 FAX : 023-641-1845
e-mail : yamakokn@beach.ocn.ne.jp
ホームページ : <http://www.yamagata-koiki.or.jp/>



エネルギー回収施設(立谷川)を建設します



イメージ図

山形広域環境事務組合

皆さんの努力で少しずつ「もやせるごみ」は減っています。しかし、ごみを完全にはなくすることはできず、生活するうえでごみが出ることは仕方のないことです。こうしたごみを処理し、皆さんの生活環境を守るために「エネルギー回収施設」が必要不可欠です。

① 発電を行います

ごみの焼却熱を利用して発電を行います。発電電力は施設で使用し、余った電力は売却します。

② 施設外での余熱利用

電気自動車の充電設備や隣接する山形市地方公設卸売市場のフォークリフトの充電設備と市場内の道路の融雪設備を計画しています。

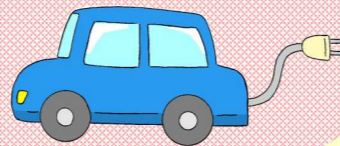


施設の発電電力は、一般家庭の年間消費電力の約 5,000 世帯分に相当します。

※年間発電電力量：17,000,000kWh/年

家庭一世帯あたりの年間消費電力量：3,360kWh/年

家庭一世帯あたりの月間消費電力量を 280kWh とし
て算出



① 環境への影響が少ないものとします

新施設から発生する排ガスや排水等は施設で処理し、環境への影響が少ないものとします。

新施設の建設は、生活環境影響調査により環境への影響が少ないことが確認できたうえで実施します。

② 関係法令を遵守します

新施設から発生する排ガスや排水等には、関係法令や関係基準等を遵守します。特に排ガスについては、関係法令よりも厳しい計画値（排出基準）を設けます。

排ガスは大丈夫？

ごみを焼却することで発生する排ガスは、高度な技術により有害物質を分解・除去を行います。

そのため、プラスチック類を燃やしても、ダイオキシン類はほぼ全て分解・除去することが可能です。

また、適切な安全管理により、有害物質の分解・除去を確実なものにすることが可能です。

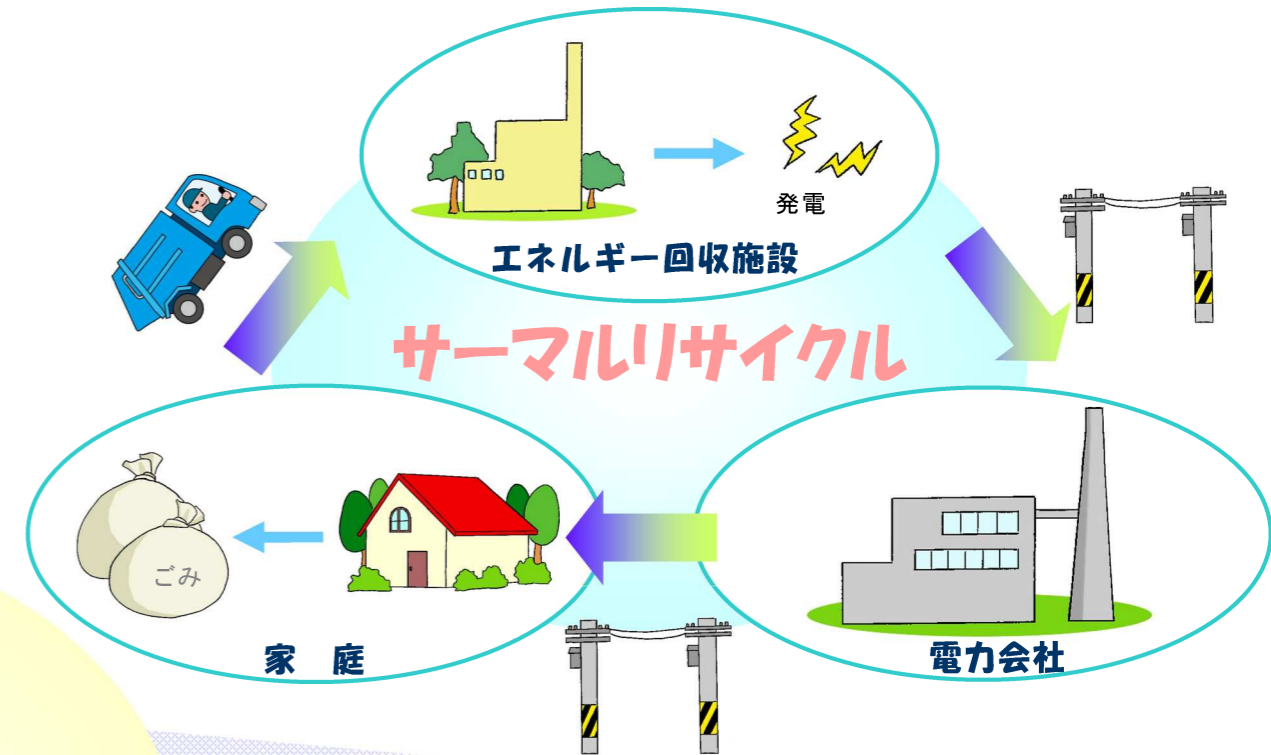


親近感のある施設

安心できる施設

信頼できる施設

施設整備のコンセプト



① 処理方式は流動床式ガス化溶融炉です

流動床式ガス化溶融炉はごみを燃焼・溶融し、スラグとして排出するものです。

この処理方式は、「処理方式検証会議」において、環境保全や施設の安全性、資源化に優れた方式と判断され、これを受けて「流動床式ガス化溶融炉」を採用することとしました。

② プラスチック類は「もやせるごみ」に変わります

現在、プラスチック類は「もやせるごみ」とは別に収集し、民間委託により処理していますが、エネルギー回収施設では、プラスチック類も処理できるため、プラスチック類は「もやせるごみ」として収集します。

③ 資源化を行います

流動床式ガス化溶融炉でごみを処理すると、多くはスラグになります。スラグは灰を高温で溶融固化したもので、無害なものです。砂に形状が似ており、道路舗装やコンクリートの材料として利用されます。

